

和製英語にはナイター、サラリーマンなど多くの傑作があり、日本語の語彙を豊かにしてくれていますが、英語と思い込んで外国人相手に使うとまったく通じず、困ってしまうこともあります。最近、COVID-19 関連で使われる英語もどきを2つ紹介しましょう。

オーバーシュート (overshoot)

感染拡大が懸念されていた2020年春、政府専門家会議の尾身茂氏の会見で、この言葉を初めて耳にしました。「爆発的感染拡大」の意味であると解説され、「なるほど、感染爆発のことを英語ではこうよぶのか」と感心した方も多かったのではないのでしょうか。何しろ尾身氏はWHOの感染症部門で活躍した方と聞いていましたので、正式の感染症用語を使っているはずと信じていたからです。ところが、一部から「欧米では感染爆発をオーバーシュートとはよばない」との指摘がありました。まさかと思い調べてみると、英語のovershootは度を越す、行き過ぎる、という意味で、カタカナのオーバーシュートは和製英語的に金融・証券の世界で広く使われる言葉だそうです。「感染爆発」の意味はなさそうでした。今回あらためてPubMedでタイトルにovershootが使われている論文を検索してみたところ、231の論文がヒットし、学術用語としていろいろな場面で使われていましたが、感染爆発の意味で使われている論文は皆無でした。なぜ感染症の専門家であるはずの尾身氏がこのようなあやしい英語もどきを使ったのか、今もってまったくの謎であります。

ピークアウト (peak out)

新規感染者数が増加から減少に転じることを最近メディアではこうよぶことが多く、尾身氏をはじめとする感染症の専門家たちもよく使っています。私がこの言葉を初めて聞いたのは10年くらい前で、ある研修医がCRPが上昇から下降に転じたことをこう表現しました。語感から何となく意味はわかりましたが、英語表現としては初めて耳にするもので、最近のアメリカの研修医が使う言葉が日本に入ってきたのかと想像しておりました。あらためて調べてみると、peak outという英熟語は存在せず、カタカナのピークアウトが和製英語として金融・証券の世界で使われることがあるだけということがわかりました。特定の単語とその前後の文章を部分的に抜き出して一覧表示するWeblio英語共起表現検索という便利なサイトがあります。peakで検索するとほとんどの例文が名詞としてのpeakになってしまうので、動詞のみを拾うためにpeakedの直後の単語を調べてみると、atが続く文章が3,212文、inが続くのが130文あるのに対し、peakedの直後にoutがついた文章の例は1つもありませんでした。以上より、ピークアウトも和製英語と認定できると思います。

オーバーシュートといい、ピークアウトといい、株の世界の和製英語が医学の世界で頻用されるというのは、あまり気分のいいものではないですね。

(相馬良直)

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐 敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第64巻 第12号 11月増大号

2022年11月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 4,950 円（本体 4,500 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 47,630 円（本体 43,300 円＋税 10%）

〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

- 本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・JCOPY＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。